「岩手県結核予防計画」改定の主なポイント

※令和6年度改定予定

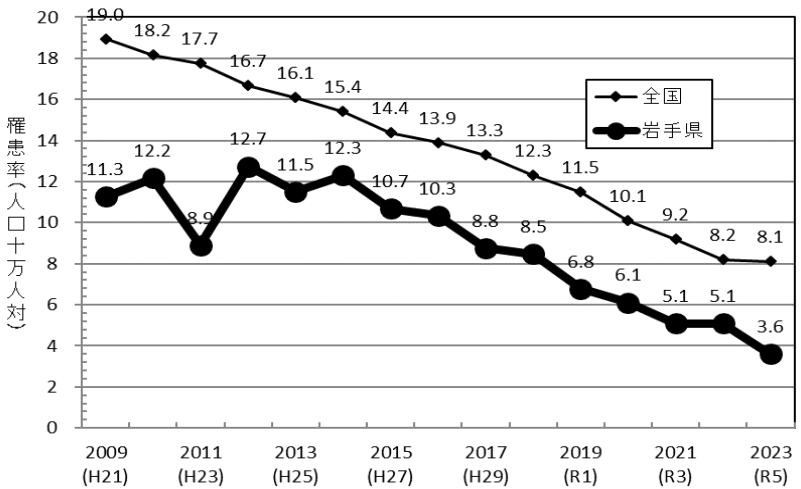
1　計画改定までの背景について

⑴ 新型コロナウイルス感染症対応では、結核患者を国立盛岡医療センターに集約

⑵ 結核基準病床数と実際の結核病床数に解離があること等から、結核医療体制を検討

⑶ 岩手県結核予防計画の目標（令和5年までに罹患率8.0以下）を達成

図1　結核り患率の推移



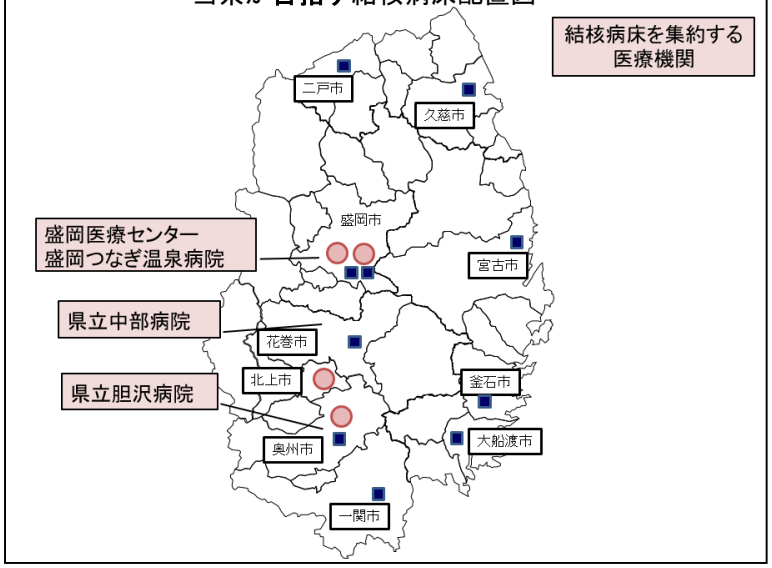
○主な改定内容

⑴ 結核基準病床数（23床）の追記
　平成30年度から令和4年度の結核入院患者数、入院日数の平均をもとに算定

⑵ 当県が**目指す**結核病床配置図の追記
　右図参照

⑶ 結核患者収容モデル病床の設置を検討
　結核患者収容モデル病床とは、結核患者の高齢化等に伴って複雑化する、高度な合併症を有する結核患者等に対して、医療上の必要性から、一般病床等において収容治療するためのより適切な基準を策定するためにモデル事業として行う病室。

当県が**目指す**結核病床配置図



目標　令和17年（2035年）までに罹患率2.0以下